

自主防災組織の結成を支援…1～5面  
 青色回転灯搭載車両でパトロール……6面  
 母子家庭の就労を支援……………7面  
 15万人のひろば……………8～9面  
 おしらせ・9月の相談日……12～13面  
 9月の休日当番医……………16面

9月1日は  
「防災の日」

# 災害時の初期活動は

## まず〴〵地域の力で

### 〳〵市で自主防災組織に防災用具や活動の経費補助も〳〵

9月1日の「防災の日」は、大正12（1923）年に発生した関東大震災を教訓として、災害に備えようと制定されました。市では、昨年新たに地域防災計画を策定し、関係機関との連携や、防災訓練などに取り組んでいます。しかし、突然やって来る災害による被害を最小限にとどめるためには、皆さんの日ごろの訓練や備えが大切です。また、被災時には、地域の方々による初期活動が、被害の拡大防止に有効なことから、市では自主防災組織を支援しています。

市では、平成17年3月に新たな地域防災計画を策定し、万一の災

害に備えています。地域防災計画では、地震や風水害などの災害の

### 総合公園水泳場の一時休業について

総合公園水泳場では、これまで毎日定期的な取水口の蓋のボルトの点検や監視員の適切配置などで、事故防止に努めてきました。

しかし、埼玉県ふじみ野市のプール事故の発生を受け、市では、施設を再点検したところ、国の通達に基づき取水口に二重の蓋をする安全対策を講じていませんでした。

利用を予定されていた皆さんには、ご迷惑をおかけして大変申し訳ございませんでしたが、安全確保を優先して8月5日から休場と

し、取水口の蓋の内側に、新たに吸込防止金具を設置する工事を実施し、8月14日から順次使用を再開しました。

【問合せ】社会体育課

種類に応じた予防対策・応急対策・復旧対策や、関係機関が取り組むべき役割などを定めています。

また、災害が発生し、被害が広範囲に及んだ場合は、すべての現場に警察や消防が駆けつけるのはとても難しいと考えられます。

そのため、個人や家族の力には限界がありますので、地域の皆さんが協力し、助け合って、災害復旧に取り組む地域の自主防災活動が大切になります。

### 地域ぐるみの防災で被害を最小限に

平成7年に発生した阪神・淡路大震災では、6千400人を超える死亡者が出ましたが、そのうち9割近くは、倒壊家屋の下敷きになってしまった方々でした。

その一方で、地域住民の方々がバケツリレーなどで延焼を食い止めたため、建物から逃げ遅れた方々

を救出するなど、自主的に救助・防災活動を行い、被害の拡大を食い止める大きな力となりました。

地震による損壊により建物などに閉じ込められた方のうち、約95パーセントは、家族や地域の方の協力で救助されており、災害時の初期活動では、地域の皆さんの力がなくてはならないことが裏付けられています。

そこで、市では、阪神淡路大震災の発生した平成7年から、地域ぐるみで防災活動を行う「自主防災組織」を自治会単位で結成するようお願いしています。

自主防災組織を結成すると、防災活動を行ううえで必要な資材・

（2面につづく）



文化センター駐車場で総合防災訓練（写真は昨年9月1日撮影）